京都大学新聞
学生諸君
京都大学新聞社
京都市左京区吉田
京大学構内
京都(781)6111(学内142番)
郵便振替 京都5番
(1部10円)

大学制度を再検討

文部省 初の「大学白書」出す

文部省は、戦後における高等教育の歩み」と題する初めての「白書」を、去の「大学白書」は全文8章に亘って、新制大学十五年の歩みをふりかえるとともに、今後の高等教育を中心とする学術問題を総括的に取組んでいるが、大学人の間にはまの関心となっている。「大学白書」の要旨次の通り。

第一章 戦後の教育改革と新制大学の発足

1. 新制大学の誕生

新制大学は、人的、物的条件の不備の中で発足したが、当時、国民の大学に対する期待は大きく、中等教育の拡張とともに、大学の量的増大は、国民の要望であった。

文教当局が、新制大学の設置を認可するに当たって、特に重点を置いた点は、学部の組織、教員組織、施設の充実程度などであったが、この点については、当時、国民の要望が、大学の量的増大に傾いていたこと、また、当時の財政事情からみて、大学の設置に対する国庫補助は、ごく僅かであったことなどから、必ずしも、満足すべきものとはいえなかった。

2. 戦後の教育改革と新制大学の発足

戦後の教育改革は、教育の機会均等、男女共学、教育の地方分権、教育の自主性の尊重などを、その基本理念として、教育の民主化を目指したものであるが、大学の新制度の発足は、この理念の具体化であるとともに、戦後の教育改革の一環として、大学の民主化を目指したものであった。

3. 新制大学の発足

新制大学の発足は、戦後の教育改革の一環として、大学の民主化を目指したものであるが、大学の新制度の発足は、この理念の具体化であるとともに、戦後の教育改革の一環として、大学の民主化を目指したものであった。

4. 新制大学の発足

新制大学の発足は、戦後の教育改革の一環として、大学の民主化を目指したものであるが、大学の新制度の発足は、この理念の具体化であるとともに、戦後の教育改革の一環として、大学の民主化を目指したものであった。

第二章 高等教育の展開

1. 新制大学の発足

新制大学は、人的、物的条件の不備の中で発足したが、当時、国民の大学に対する期待は大きく、中等教育の拡張とともに、大学の量的増大は、国民の要望であった。

文教当局が、新制大学の設置を認可するに当たって、特に重点を置いた点は、学部の組織、教員組織、施設の充実程度などであったが、この点については、当時、国民の要望が、大学の量的増大に傾いていたこと、また、当時の財政事情からみて、大学の設置に対する国庫補助は、ごく僅かであったことなどから、必ずしも、満足すべきものとはいえなかった。

2. 戦後の教育改革と新制大学の発足

戦後の教育改革は、教育の機会均等、男女共学、教育の地方分権、教育の自主性の尊重などを、その基本理念として、教育の民主化を目指したものであるが、大学の新制度の発足は、この理念の具体化であるとともに、戦後の教育改革の一環として、大学の民主化を目指したものであった。

3. 新制大学の発足

新制大学の発足は、戦後の教育改革の一環として、大学の民主化を目指したものであるが、大学の新制度の発足は、この理念の具体化であるとともに、戦後の教育改革の一環として、大学の民主化を目指したものであった。

4. 新制大学の発足

新制大学の発足は、戦後の教育改革の一環として、大学の民主化を目指したものであるが、大学の新制度の発足は、この理念の具体化であるとともに、戦後の教育改革の一環として、大学の民主化を目指したものであった。

第三章 大学の学術研究

第四章 私学の発展

第五章 学生をめぐる諸問題

第六章 今後の高等教育の展望

付章 主要な外国の高等教育

490円 全国送料一律
フルコース
スープ、フィッシュ、アントル、野菜サラダ、デザート、パンそしてコーヒー
名曲の調べ……静かなムード
語らいと憩いは地下喫茶部へ
●あらゆるご集会、コンパ、ご招待に最非ご利用下さい。ご予約多来ております。
L'ambre
らんぶる
京・クマノ前 (771)4251(代)
口百万遍らんぶる へもどうぞ

「国家」と「国民」の合体

十九年目の八・一五をめぐる「国家と戦争」体験論

こもごも「戦後」を語りはじめる

十九年目の八・一五。あれから、ちょうど、一昨年、去年、今年と、戦争の、あの、あまりにも、あまりにも、あまりにも